

## 喜多ハウジング株式会社

### ◎ 事業所概要

企業名:喜多ハウジング株式会社  
代表者氏名:代表取締役社長 西谷 清  
所在地:金沢市  
業 種:建設業  
労働者数:63人

### ◎ 行動計画

- |   |      |  |
|---|------|--|
| 1 | 計画期間 | 平成23年4月1日～平成26年8月31日                     |
| 2 | 内容   |  |
|   | 目標1  | 女性社員が育児休業を取得し、職場復帰しやすい環境整備<br>育児休業取得率70% |
|   | 目標2  | 短時間正社員制度の導入・定着<br>制度利用者1人                |
|   | 目標3  | 子の看護休暇の利用促進                              |
|   | 目標4  | 学校行事への参加や育児全般に利用できる休暇の導入                 |

### ◎ 目標達成の状況

- 目標1 ・女性の育児休業者 2名(対象者2名中2名取得 取得率 100%)  
・育児休業期間中の代替要員の確保や業務内容、業務体制の見直しのため、社員アンケートや業務棚卸により現状を把握  
・妊娠中や産休・育休復帰後の女性社員のための相談窓口の設置  
・育児休業中の待遇や育児休業後の労働条件について、ハンドブックや説明会、社内通信による周知を実施
- 目標2 ・社内業務の棚卸、仕事の配分及び見直しを行い、小学校就学前までの子を持つ労働者や家族の介護を行う労働者を対象とする短時間正社員制度を導入  
・短時間正社員制度についてハンドブックや社内通信による周知を実施  
・制度利用者 女性1名(利用期間 約3年間)
- 目標3 ・1歳以上の子のための子の看護休暇の男性取得者 1名(取得日数2日)  
・社員アンケートによりニーズを把握。制度についてハンドブックや説明会による周知を実施。
- 目標4 ・社員アンケートにより社員ニーズを把握し、平成23年6月にファミリー休暇を導入。  
・制度について紹介したハンドブック説明会、社内通信により制度の周知を実施。

## ◎ その他の取組の状況

- ・小学校卒業までの子を有する社員は、短時間勤務制度の利用ができる。
- ・ノー残業デー(毎週月・木曜)の実施
- ・メモリアル休暇(誕生日、結婚記念日に利用できる有給の特別休暇)について、男性32名、女性53名が取得。

## 企業からのひとこと

### ○ 行動計画策定・実施に当たって工夫した点

当社は主に住宅のリフォームを手掛けていることから、女性デザイナーの活躍の場が多く、商談・企画以外にも各種申請業務を行うなど、1人当たりの業務範囲も広いことから長時間労働になりがちで、仕事と育児・介護との両立は難しい部分がありました。

そこで、厚生労働省委託事業である短時間正社員制度導入支援事業に参加し、提案された制度案に基づき当社に合った制度を検討するとともに、ファミリー・サポートプロジェクトチームを社内に立ち上げ、育児休業後に職場復帰しやすい職場環境を整備について検討・実施する行動計画を策定しました。

### ○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

行動計画策定当初から、「くるみんマーク」取得を目指していることを会社ホームページで対外的に公表するとともに、社内通信でも社員に周知し、会社全体で取り組みました。また、行動計画の取組として社内業務の棚卸や仕事の配分・見直しを行うことで効率的な業務の進め方について検討することができました。また、ハンドブックや説明会の開催により多くの社員に両立支援制度の内容について周知ができました。

ファミリー休暇はまだ利用者が出ていませんが、事業年度当初から計画的な取得を促すなど、取組を進めていきたいと思えます。

### ○ 子の看護休暇を取得した男性従業員の声(金沢支店エンジニア 40歳)

子ども2人がインフルエンザにかかり、共働きなので、どうしようと悩んでいました。会社から休みをいただくのに、最初は戸惑いましたが、妻も「仕事をあけることができない」とのことで、相談したところ、快く認めていただき、子供を看病することができました。

これまでの「妻が子どもの面倒をみるのが当たり前」との意識ではいけない、と感じましたしそうならないと女性が活躍できないと思えます。

これから、もっと女性の力が必要な時代になってくると思えます。今回のように快く休暇をいただけることに感謝します。

### ○ 育児短時間正社員制度を利用した女性従業員の声

(キタデザインチームからサポートチームへ異動 39歳)

育児短時間正社員制度を利用することで、子どもの保育園の送迎のために朝の準備に少しゆとりが持て、またお迎えも他の社員の方に気兼ねなく行けるので助かっています。

また子どもの睡眠時間の確保や母子のコミュニケーションのために時間が使えるのも、とてもありがたく思っています。